

ミスミグループ本社 2024年3月期 第1四半期 連結業績

～中国の景気回復遅れにより中・亜において需要低迷の影響大～

株式会社ミスミグループ本社は本日、2024年3月期 第1四半期（2023年4月1日～2023年6月30日）の連結業績を発表しました。主な業績数値は以下の通りです。

(百万円)	2023年3月期 第1四半期	2024年3月期 第1四半期	増減率
売上高	93,101	89,866	▲3.5%
営業利益	14,135	8,999	▲36.3%
純利益	10,586	6,087	▲42.5%
1株当たり純利益	37.23円	21.47円	

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績ハイライト

- 当第1四半期における世界経済は、新型コロナウイルス感染による行動制限が緩和される中、経済活動の正常化が進みました。一方、エネルギーや原材料などコストの上昇および為替変動による影響が続いたため、製造業を中心とする設備投資需要に本格的な持ち直しが見られませんでした。昨年度コロナ禍の影響を強く受けた中国では、その後の景気回復に大きな遅れが生じており、需要の低迷が継続しました。一方、その他海外地域および日本においては、不透明な経済状況が続いていましたが、需要は底堅く推移しました。
- こうした環境において、当社はメーカー事業と流通事業を併せ持つユニークな業態を活かしながら、これを支える事業基盤をグローバルで進化させ、顧客の确实短納期ニーズに応えることで世界の製造業を中心とした自動化関連産業に貢献しています。これまで当社が築いてきたIT、生産、物流の強固な事業基盤やグローバル拠点網を活用して顧客の需要を的確に捉えることに尽力し、持続的な成長に向けて実行した新商品・新サービス開発を含む新事業政策も概ね計画通りに推移しました。一方で、中国の景気回復遅れにより、中国やアジアにおいて工作機械業界同様に需要低迷の影響を大きく受けました。
- この結果、需要減速の影響を受け、為替効果は一部ありましたが、連結売上高は89,866百万円、前年同期比3.5%減（現地通貨ベース5.6%減）となりました。利益面につきましては、売上数量や稼働の減少および新基幹システム導入に関わる費用の前倒し等により、営業利益は8,999百万円（前年同期比36.3%減）、経常利益は9,837百万円（前年同期比32.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は6,087百万円（前年同期比42.5%減）となりました。

2. 金型は増収確保も、FA・VONA は中国需要低迷の影響を受け減収

- 2024年3月期第1四半期のセグメント別売上高は、以下の通りとなりました。

	売上高(百万円)		増減率	
	2023年3月期 第1四半期	2024年3月期 第1四半期	円ベース	現地通貨 ベース
FA事業	30,226	29,093	▲3.7%	▲5.9%
金型部品事業	19,443	19,569	+0.6%	▲2.9%
VONA事業	43,431	41,204	▲5.1%	▲6.5%
合計	93,101	89,866	▲3.5%	▲5.6%

- FA事業は、中国を除く地域では成長を確保した一方、景気低迷の中国では設備投資需要が一般的に低調に推移しました。
- 金型部品事業は、中国を除く地域では部材供給制約の緩和などにより自動車関連顧客の稼働が改善傾向にあり、為替効果も一部ありました。
- VONA事業は、欧州・米州は引き続き成長しましたが、中国やアジアは顧客工場稼働率の低下等が大きく影響しました。

3. 中国の景気回復遅れにより中・亜は前年比減収も、他地域は概ね堅調

- 2024年3月期第1四半期の地域別売上高は、以下の通りとなりました。

	売上高(百万円)		増減率	
	2023年3月期 第1四半期	2024年3月期 第1四半期	円ベース	現地通貨 ベース
日本	41,753	41,731	▲0.1%	—
海外	51,347	48,135	▲6.3%	▲10.0%
中国	18,393	14,873	▲19.1%	▲19.2%
アジア	14,690	13,775	▲6.2%	▲9.3%
アメリカ	10,271	10,749	+4.7%	▲2.2%
欧州	5,835	6,548	+12.2%	+3.1%
その他	2,156	2,187	+1.5%	▲9.9%

- 中国の景気回復遅れにより中国およびアジアは前年に対して減収となりましたが、他地域は概ね堅調に推移しました。

4. 2024年3月期連結業績予想および配当予想を下方修正

(1)2024年3月期第2四半期(累計)連結業績予想の修正(2023年4月1日～2023年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回予想(A)	188,000	25,200	25,400	18,700	65.72
今回予想(B)	181,000	20,000	20,800	14,000	49.73
増減(B-A)	▲7,000	▲5,200	▲4,600	▲4,700	
増減率(%)	▲3.7%	▲20.6%	▲18.1%	▲25.1%	
前期実績	188,158	26,898	27,527	20,240	71.18

(2)2024年3月期連結業績予想の修正(2023年4月1日～2024年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	純利益	1株当たり 純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回予想(A)	396,000	51,000	51,400	37,800	132.84
今回予想(B)	377,000	42,800	43,600	30,500	108.35
増減(B-A)	▲19,000	▲8,200	▲7,800	▲7,300	
増減率(%)	▲4.8%	▲16.1%	▲15.2%	▲19.3%	
前期実績	373,151	46,615	47,838	34,282	120.53

注)通期業績予想の平均為替レートにつきましては、足元の為替状況を考慮し、前回4月27日公表時に想定したレートから、1ドル=130.0円を136.0円に、1ユーロ=138.0円を147.0円に見直し、1元=19.0円は据え置きといたしました。

- 第1四半期の連結業績につきまして、当社は顧客の需要を的確に捉えることに尽力し、持続的な成長に向けて実行した新商品・新サービス開発を含む新事業政策も概ね計画通りに推移しました。一方で、中国の景気回復遅れにより、中国やアジアにおいて工作機械業界同様に需要低迷の影響を大きく受けました。また、今後の市況の見立てにつきましては、2023年4月27日公表時点に比べ、中国・アメリカなど主要国の景気減速懸念が高まり、需要回復時期に遅れが生じる見込みと判断いたしました。業績の進捗および足元の需要動向を勘案し、第2四半期累計期間および通期の連結業績予想につきましては、上記の通り下方修正をいたしますが、通期では増収を確保する見込みです。

なお、今後事業環境の変化により業績に影響を及ぼす重要な事項が発生した場合には、速やかに開示いたします。

(3)2024年3月期配当予想の修正(2023年4月1日~2024年3月31日)

	年間配当金		
	第2四半期末	期末	合計
前回予想	16円43銭	16円79銭	33円22銭
今回修正予想	12円44銭	14円66銭	27円10銭
前期実績	17円80銭	12円34銭	30円14銭

- 当社は、将来にわたって競争優位性を保ち、持続的成長と企業価値向上を実現するため、IT、生産、物流の事業基盤の強化やサプライチェーンの強靱化に積極的に取り組み、事業モデルを刷新し続けています。そのため、中長期的な視点での成長投資と株主の皆さまへの還元は、バランスを取りながら実施してまいります。
- 配当に関しては、経営基盤拡充、財務体質の強化、資本効率の向上なども勘案し、配当性向25%を基準としていることから、上記の通り2024年3月期連結業績予想の修正により、第2四半期末配当予想を1株当たり12円44銭(前年比5円36銭減)、期末配当予想を1株当たり14円66銭(前年比2円32銭増)に修正し、年間配当予想は27円10銭の見込みとなります。

[業績予想に関する留意事項]

この資料に掲載されている2024年3月期の見通し及び将来に関する記述部分につきましては、国内及び諸外国の経済状況、各種通貨の為替レートの変動、業績に影響を与えるその他の要因等、現時点で入手可能な情報をもとに、当社グループが合理的であると判断した一定の前提に基づいておりますが、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、これらの将来に関する記述のみに全面的に依拠して投資判断を下すことは控えるようお願いいたします。実際の業績は、様々な要素により、これら業績予想とは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える重要な要素には当社グループを取り巻く経済情勢、市場の動向、為替レートなどが含まれます。

2024年3月期第1四半期の連結業績の詳細は、決算短信をご参照ください。

この件に関するお問い合わせ
株式会社ミスミグループ本社
コーポレート・リレーション室 IR・SR チーム
Tel:03-6777-7501 Fax:03-5211-7502
mail: cc@misumi.co.jp